

多様性の尊重に基づく学生支援ポリシー

2024年9月4日

東京医療保健大学

1. 東京医療保健大学は、建学の精神および大学ビジョンに基づき「いのち、思いやり、絆、愛の心」を涵養し、心の通う大学・キャンパスを目指しています。様々な人々がともに学び合うことができる体制の構築に努めます。
2. このため、家庭環境、居住地域、国籍、性別等の要因により進学機会の確保や学修の継続に困難があると認められる者に対して、個々の学生の事情において、学修の継続を支援する体制を、全学的に構築します。

※下線部は私立大学等改革総合支援事業における「多様な背景」の定義箇所

3. 東京医療保健大学は、学生が家庭環境、居住地域、国籍、性別（性的嗜好や性自認を含む）に起因して苦痛を感じることがないように、ダイバーシティやインクルージョンに対する理解の促進に努めます。
4. 支援のあり方は画一的なものでなく、それぞれの学生の背景と支援の必要性に応じて柔軟に対応することとします。個別対応にかかる経費は受益者負担を原則としますが、経済的な課題を抱える学生に対しては公的サービスの活用等を支援します。
5. 個別対応の実施主体は各学生が所属するキャンパス（学部・学科および事務部）としますが、全学的な相談窓口として学生支援センターが各キャンパスを補完するほか、関係する全学委員会とも連携し大学一丸となって取り組みます。